

2021年3月期 第1四半期決算説明会
主な質疑応答

Q: ドキュメント事業において、コロナ禍でのソリューション&サービスの需要の状況について教えてほしい。

A: 在宅勤務の浸透で、特に求められるセキュリティ機能に強い点が当社の強みであり、オフィスに届くファクス文書を自宅で確認できるペーパーレスファクスソリューションや、電子認証に対応したソリューションが堅調。大企業向けだけでなく、IT 管理人材が少ない中小企業からの引き合いが強くなっている。

Q: チェキの販売状況を教えてほしい。

A: コロナ影響で減収とはなったが、6月の市場での販売状況は米国・中国、欧州主要国などで対前年プラスとなった。パーティーのような人が集まる機会だけでなく、在宅でも家族やペット、自分の周囲のものを撮影して楽しむ使い方の提案を、グローバルでプロモーションして、需要喚起している。

Q: バイオ CDMO 事業の中期目標に対する進捗を教えてほしい。

A: 売上 2021 年度 1,000 億円、2025 年度 2,000 億円の目標に対して、顧客からの引き合いも強く、順調に進捗している。デンマーク拠点での 1,000 億円の設備投資が達成のキーであり、早い設備は 2 年後から稼働していく。また、米英の拠点でも投資をしており、順次稼働させていく。

Q: アビガン[®]錠は、9 月までに企業治験が完了するとの報道があるが、現状について教えてほしい。

A: 足元の感染者数が増えたこともあり、治験参加者の組み入れが順調に進み、関係施設には 8 月 16 日までに組み入れを終了するとの案内を行った。そこから 1 か月程度の観察期間終了後、第三者からなる中央評価委員会の評価を経て解析を行い、承認・申請のタイミングなどを当局と詰めていく。